

# 松本純一郎・SOYJVら特定

## 名取市ゆりが丘 複合福祉施設

宮城県名取市ゆりが丘で、民間企業と教育機関、学生の連携による新たなまちづくりプロジェクトが本格始動する。福祉事業を展開するツイミ（仙台市、金沢和樹社長）



完成イメージ

は、尚綱学院大学（名取市、鈴木道子学長）と共同で計画する複合施設のプロポーザルを実施した結果、設計を担当する松本純一郎設計事務所・SOY source 建築設計事務所JV、施工担当のセルコホーム（協力）アトリ（海）からなるグループを最優秀提案者に特定した。

資材価格高騰などを踏まえ、設計内容を確実に実現するためのフロントローディングを目指し、設計者には施工者とのグループによる参加を求めていた。2023年1月に設計をまとめる。2月に着工し、24年1月の完成、同4月の供用を予定している。

ゆりが丘は、名取市北西部の丘陵にある住宅団地。開発から約30年が経過し、近年は住民の高齢化・独居化が進行している。

こころとした状況を踏まえ、ツイミは団地中央にある交通結節点の敷地（ゆりが丘4-2-1ほか）約0.7畧に、地

域活性化と持続可能なまちづくりのための複合施設を計画している。若者が住みたい、働きたいまちの実現につながる施設とするため、ゆりが丘にある同大と協働して構想段階からプロポーザル審査まで学生に参画してもらい、その柔軟な思考を事業に反映させた。

プロポーザルでは、複合施設の必要な機能に50室の介護付き有料老人ホームや100席程度のそばカフェ、就労支援施設、コインランドリーなどの提案を求めた。

松本純一郎事務所JVは「ツイミガーデンヒルズ仙台ゆりが丘コモン」は、2階建ての老人ホーム棟、平屋建てのそばカフェ棟、就労継続支援・地域交流スペース・コインランドリー棟の木造3棟からなる総延べ2125平方メートルの施設を提案した。各施設には簡易な軒下などの半屋外空間を設けており、中央にバーベキユースポットなどにより利用できる芝生広場を配置して有機的に一体化させている。

このうち、バーベキユースポットの整備に当たっては、大学との協働の観点から学生コンペの開催などを提案した。

